

平成 17 年度 第 2 回 学生との懇談会

実 施 要 領

1. 学生懇談会の目的

学部学生と大学院学生との懇談を通じて教育内容や大学施設、学生支援サービス等、広く大学生活に関わる学生の要望、意見などを聞き、学科の教育システムや環境、学生サービス等の点検と改善に役立てることを目的とする。

2. 主催： 学科長 福澤、教務 WG 沼尾

3. 日時：2006 年 2 月 14 日（火）16：00-17：00

4. 場所：東棟会議室

5. 出席者（予定）：

【教員】 福澤（学科長、2 年）、小柳（領域長、M2）、横山（就職、3 年）沼尾（教務 WG）、井上（学生委員）、山田（M1）、小峯（就職、4 年）

【学生】 2,3,4 年次学生、M1,M2 学生 各 4 名程度

6. 懇談内容：

① 授業関係

学習教育目標、カリキュラム、時間割、評価方法、シラバス、JABEE、授業アンケート、

② 授業内容、評価方法

③ 施設・設備関係

講義室、研究室、図書館、構内環境、生協、等

④ 学生生活・支援体制

就職、アルバイト、資格、

⑤ その他

7. 進行・記録：寺内（教務 WG）

学生懇談会 2/14 の報告

1. 日時：2006年2月14日（火）16:00～17:00

2. 場所：東棟会議室

3. 出席者：

【教員】 福澤（学科長、2年）、小柳（領域長、M2）、横山（就職、3年）沼尾（教務WG）、山田（M1）、小峯（就職、4年）

【学生】 2年次学生（男子2名女子2名内留学生1名）、3年次学生（男子3名女子1名）

4. 記録：寺内

5. 主な意見・要望

① 授業関係

・ JABEE 関連

○ を付けても一度出したらもう見ないので、達成されているのか分からない。

レポート等が多く、文章は書けるようになったと思う（何が達成されたかという問に対して）

・ 基礎科目と体験型授業

基礎はつまらない、体験型はおもしろい、2年次では就職や将来のことがイメージし辛いので体験型は為になった。

（バイパス？橋梁工事）見学はおもしろかった。

・ 必修、選択必修の朝の授業がきつい、頭にはいらぬ、黒板だけノートに移すだけになってしまいがち

・ 9月末の測定の自習と自然科目の集中講義が重なって受講できなかった。

・ 板書の字が小さい先生がいる。（見えるように前の席には座りたくない）

・ 水曜日の午前中は比較的空いている（どこに授業が入れられるかという問に対して）

・ リターン制度の復活を望む。あとから別の授業を受けたり、自習することで分かる場合もあるので。

・ 年初めにレポートが（3つ4つ）集中する（2年次）。

・ 3年がひま、2年で授業を取りすぎた。3年次は2年次の半分以下の受講数。

・ 設計演習と実験について（3年次）

前期水質実験と水理実験はレポートと口頭試問が難しい。

・ 構造力学について（2年次）

構造力学1は授業と試験難度に差があるが、構造力学2を受けると理解できる。

そのほか、コンクリート構造学、測量実習、水理学2も難しい。

・ コンピュータについて

エクセルの使い方が分からない人がある。2年次に授業科目としてあればよい。2年次では使う人は少ないが、3年次のレポート作成でワープロは習得するのが現状。（ちなみに、懇談会出席者8名全員がパソコン保持者）

② 施設・設備関係

- ・ 情報センターのパソコンが少ない。
- ・ テスト期間中の図書館の混雑、椅子テーブルとも増やして欲しい。冷暖房の不具合。
- ・ 冬の教室が寒い、ファンヒーターが効いてない。
- ・ 5限が終わったときに電気が消されていて怖かった（スイッチの位置が分からない）。
- ・ 実験装置や測定の器械が古い。
- ・ パワーポイントが見えづらい教室がある。
- ・ 3列固定席の教室で真ん中の席が座りにくいので大きな教室が良い。

③ 学生生活・支援体制

- ・ 授業など学校に来なくなる人が（割と）いる。
- ・ 5回欠席すると声をかけるようにしている（メールなど）（3年次）
- ・ 担任以外の先生とは話しにくい。接する機会が少ない。